



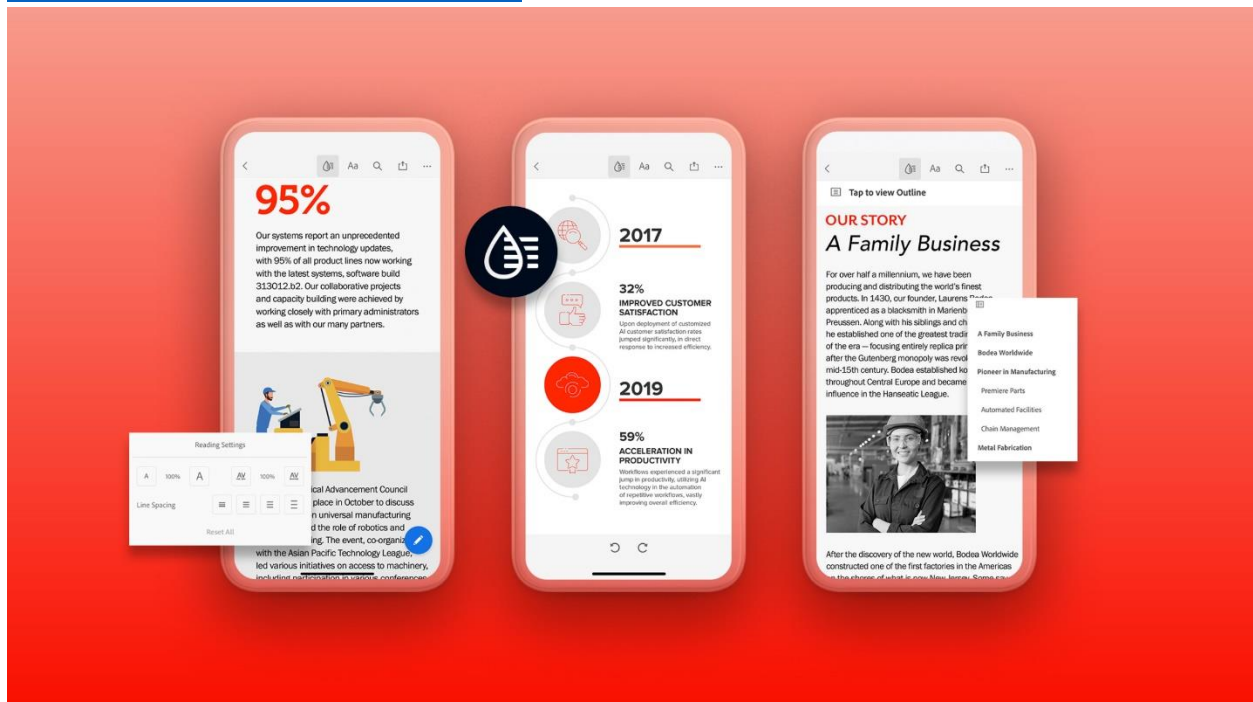
アドビ株式会社  
141-0032 品川区大崎 1-11-2  
ゲートシティ大崎イーストタワー

# アドビ、モバイルデバイスでの文書の閲覧体験を画期的に向上 する Adobe Acrobat Reader モバイル版アプリの新機能 「Liquid Mode」を発表

デジタルドキュメントの活用方法を再定義する、数か年におよぶ PDF のビジョンの第一弾

【2020年9月29日】※当資料は、2020年9月23日に米国で発表された[資料](#)の抄訳です。

Adobe (Nasdaq: ADBE) (本社：米国カリフォルニア州サンノゼ、以下アドビ) は本日、デジタルドキュメントの活用方法を再定義する、数か年におよぶ PDF のビジョンと、その第一弾となる [Adobe Acrobat Reader モバイル版アプリ](#) の新機能「Liquid Mode」を発表しました。



昨今、デジタルエクスペリエンスはあらゆる業界に浸透し、日々の仕事から、私生活にいたるまで、さまざまな事柄に影響を与えるようになりました。アドビの電子サインサービス「[Adobe](#)

[Sign](#) の利用率は 200%以上上昇し、ドキュメントの共有とワークフローの効率化を実現するクラウドサービス「[Adobe Document Cloud](#)」の月間アクティブユーザー数は、2020 年に 2 倍以上増加しました。アドビの試算によると、現在世界には 2 兆 5000 億以上の PDF が存在しています。今回の発表は、企業が他社との差別化を図るために行うドキュメントインテリジェンスの活用方法を変えるものです。Liquid Mode の開発にあたり、人々がどのように文章を読むのか、そしてどのようにデジタル文書を利用するのかを改めて考え直し、PDF の構造を理解するために最先端の AI と機械学習のフレームワーク「Adobe Sensei」を活用して、A4 用紙での文書利用の枠を超えたモバイルデバイスでの生産性について再考しました。

### Liquid Mode の機能について

Liquid Mode は、モバイルデバイスでの文書の閲覧体験を画期的に向上する機能です。モバイルデバイスでの文書の閲覧は、長文の場合、特に手間のかかる作業でした。アドビが最近行った調査によると、モバイルデバイスでの文書の閲覧を「不満足」と感じている日本人は回答者の 60% に上り、その理由として「文字が小さすぎる（54%）」、「ピンチインやズームアウトする必要がある（42%）」、「読み込みに時間がかかる（33%）」などが挙げられました。一方で、約 80% の人がより簡単に書類が閲覧できるようになれば、モバイルデバイスを活用して仕事をすると回答しました。

こうした背景を踏まえ、アドビは、まず、iOS、Android、そして Google Play ストアを利用できる Chromebook を含めた [Adobe Acrobat Reader モバイル版アプリ](#) に、Liquid Mode を搭載しました。本機能は、デスクトップやブラウザにも近々搭載される予定です。なお、日本語版の対応は、来年以降を予定しています。

Liquid Mode を使えば、ボタン一つでテキストや画像、表の大きさを、小さなモバイルデバイスの画面に合わせて自動的に組みなおすことができます。Adobe Sensei が、見出し、段落、画像、一覧、表などの PDF の要素を把握、特定します。さらに、これらの要素を分析することで、いままで固定された情報を表示していただけの PDF ファイルが、よりダイナミックかつカスタマイズされた状態で表示されるようになりました。

同時に Liquid Mode では、自動的に目次を生成する機能や、文章の段落を折りたたんだり拡張したりする機能、文字検索機能も搭載されている他、フォントサイズに加えて、文字や行間のスペース

もより読みやすいものに変更可能です。また、文字サイズやレイアウトの変更、画像のタッチ表示や拡大、表のレスポンス表示が可能になることで、ピンチインやズームアウトなどの操作が不要になります。

PDF 閲覧時によくある問題点に対応した本機能ですが、Liquid Mode は技術的にまだ発展段階にあります。あらゆる機械学習同様、今後多くの文書が Liquid Mode により処理されることで、機能性の拡大や、信頼性の向上に役立つ知識を拡充予定です。

## 未来の PDF

アドビは、アドビの提供するあらゆるドキュメント関連製品・サービスに Adobe Sensei を組み込むことを未来の PDF 構築に向けた取り組みの中核に据えています。

アドビは常にデジタルリテラシーを最重要事項のひとつとして取り組んできましたが、Liquid Mode を通し、パートナー企業や教育機関とともに文章のパーソナライゼーション化をサポートすることで、年齢や能力の異なるあらゆる人々の読解力や記憶力に関する謎が解明されつつあります。PDF 自体に変更を加えず、PDF の内容を閲覧、抽出できる本機能は、データベース、PC、モバイルデバイスおよび Web 上に格納された数兆個の PDF の分析や活用に関わる機能です。

アドビは、質の高いデジタルエクスペリエンスの実現をミッションに、30 年以上にわたりサービスを提供しています。1990 年代初期における PDF の採用と実用化から、2008 年の PDF 規格の国際標準化、そして今回の Liquid Mode の発表に至るまで、アドビはデジタル文書の私的かつ公的な利用のあり方を決定付ける役割を果たしてきました。このたびの発表も新たなフロンティアの始まりであり、今後もアドビは、PDF エクスペリエンスの変革を続けてまいります。

### ■ 「アドビ」について

アドビは、世界を変えるデジタル体験を提供します。

アドビ株式会社はその日本法人です。同社に関する詳細な情報は、web サイト (<https://www.adobe.com/jp/>) に掲載されています。

©2020 Adobe Inc. All rights reserved. Adobe, Adobe Document Cloud, and the Adobe logo are either registered trademarks or trademarks of Adobe Inc. in the United States and/or other countries. All other trademarks are the property of their respective owners.